

# 厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A

## 厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A（医療機関・検査機関の方向け）

令和3年1月12日時点版 問22より作成

出典：[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00004.html#Q22](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00004.html#Q22)

Q:

イブプロフェンで新型コロナウイルス感染の症状が悪化するという話を聞きましたが、どのように考えればよいのでしょうか。

A:

新型コロナウイルスに感染した時にイブプロフェンの服用により新型コロナウイルス感染症が悪化することを示す科学的な根拠は得られていません。厚生労働省では、引き続き新しい情報を収集・分析し、今後も情報提供に努めます。

(参考)

1. 欧州医薬品庁 (EMA) の主な見解 (2020年3月18日)

現在のところ、イブプロフェンが新型コロナウイルス感染の症状を悪化させる科学的な根拠はなく、治療に際して、患者や保健専門家はアセトアミノフェン、イブプロフェンのような非ステロイド性抗炎症薬を含め、すべての可能な治療オプションを検討すべきである。

出典：[European Medicines Agency "EMA gives advice on the use of non-steroidal anti-inflammatories for COVID-19"](#)

2. アメリカ食品医薬品局 (FDA) の主な見解 (2020年3月19日)

現在のところ、イブプロフェンが新型コロナウイルスの症状を悪化させる科学的な根拠はありません。イブプロフェンの服用が心配な場合や慢性疾患の治療に使用している場合は、保健専門家に相談してください。

出典：[FDA "FDA advises patients on use of non-steroidal anti-inflammatory drugs \(NSAIDs\) for COVID-19"](#)

3. WHOの主な見解 (2020年4月19日)

現時点において、NSAIDs（注：イブプロフェン等）を使用した結果として、新型コロナウイルス感染症の感染患者における重篤な有害事象の発生、救急医療等の利用、生存期間、又は生活の質(QOL)への影響が生じたという科学的な根拠は得られていません。

出典：[WHO "The use of non-steroidal anti-inflammatory drugs \(NSAIDs\) in patients with COVID-19"](#)

## 厚生労働省 新型コロナワクチンQ&A > ワクチンの安全性と副反応より作成

出典：<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0007.html>

Q:

新型コロナウイルス感染症のワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬\*を飲んでもよいですか。

A:

新型コロナウイルス感染症のワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬\*で対応いただくことも考えられますが、特に下記のような場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。

- ・他のお薬を内服している場合や、妊娠中、授乳中、ご高齢、胃・十二指腸潰瘍や腎機能低下など病気治療中の場合（飲める薬が限られていることがあります。）
- ・薬などによりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある場合
- ・激しい痛みや高熱など、症状が重い場合や、症状が長く続いている場合
- ・ワクチン接種後としては典型的でない症状がみられる場合（ワクチン接種後に起こりやすい症状や起こりにくい症状については、[こちら](#)をご覧ください。）

なお、新型コロナウイルス感染症のワクチンを受けた後、症状が出る前に、解熱鎮痛薬を予防的に繰り返し内服することについては、現在のところ推奨されていません。

(参考資料)

[CDC. Interim Clinical Considerations for Use of COVID-19 Vaccines Currently Authorized in the United States](#)

(米国CDCのmRNAワクチン使用に関する暫定的見解)

\*市販されている解熱鎮痛薬の種類には、アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬（イブプロフェンやロキソプロフェン）などがあり、ワクチン接種後の発熱や痛みなどにご使用いただけます。（アセトアミノフェンは、低年齢の方や妊娠中・授乳中の方でもご使用いただけますが、製品毎に対象年齢などが異なりますので、対象をご確認のうえ、ご使用ください。）